



地図帳のページ	問いの番号	問題	解答	ワンポイント解説
99-100	☐ 35	鹿児島県と沖縄県では南北方向に長いのはどちらだろうか。都道府県界に注目しよう。	鹿児島県	緯線から緯度を読み取る方法を理解する。日本の国土の南西部を占める鹿児島県と沖縄県が、数多くの離島から構成されていることを理解する。
103-104	☐ 36	周辺に地熱発電所 ● が分布している火山 ▲ を探そう。	くじゅう連山、霧島山、など	九州地方が日本有数の火山の集中地域であることを概観する。火山活動によってもたらされる地熱を、再生可能エネルギーとして発電に利用していることを理解する。
105-106	☐ 37	四国の地方名の元になった旧国名を確認しよう。	阿波、讃岐、伊予、土佐	4つの旧国で構成されたことが、四国という地名の由来であることを理解する。旧国名が「讃岐平野」などの自然地名や、「阿波踊り」などの名称を通して、現代の暮らしにも身近な存在であることを確認する。
107-108	☐ 38	琵琶湖の水が、どの都道府県を通過して海に注ぐか確認しよう。	滋賀県、京都府、大阪府を貫流して大阪湾に注ぐ	近畿地方の地形を概観し、山地が大部分を占める中で淀川水系に平野が集中していることを理解する。琵琶湖の水が「近畿の水がめ」となり、その流域を中心に京阪神大都市圏が形成されていることを理解する。
109-110	☐ 39	果樹園や茶畑が広がっている地域を確認しよう。	果樹園…和歌山県の紀の川沿い、奈良県の五條市周辺など 茶畑…京都府と奈良県の府県境付近に位置する、京都府の和束町や奈良県の月ヶ瀬など	果樹園や茶畑が丘陵地や山間地の斜面を中心に果樹園や茶畑が分布していることを概観する。斜面の日照条件や排水の良さが果樹や茶の栽培に適していることを理解する。
113-114	☐ 40	都道府県境となっている山脈を読み取ろう。	飛騨山脈、赤石山脈、越後山脈、など	山脈の稜線が自然の地形に沿って定められる自然的境界のひとつであることを理解する。日本アルプスなどの急峻な山脈が集中する中部地方では、とくに旧国の境界とされる場合が多かったことを理解する。
117-118	☐ 41	関東地方のなかで、50万人以上の都市(■)を探してみよう。	東京、横浜、川崎、さいたま、千葉、八王子、相模原、宇都宮、川口、船橋	50万人以上の大都市が、首都東京を核とした首都圏にとくに集中していることを概観する。それらの大都市の中には、府県なみの行政権・財政権をもつ政令指定都市が含まれていることを理解する。
119-120	☐ 42	山手線の西側に伸びるJR以外の鉄道線を確認しよう。	西武池袋線、西武新宿線、京王井の頭線、京王電鉄京王線、小田急小田原線、東急東横線、など	山手線の西側に伸びるJR線以外の鉄道沿線の大部分が、ニュータウンなどの市街地であることを地図から読み取り、郊外の鉄道開発が都心部へ通勤する人の住宅開発と結びついていたことを理解する。
125-126	☐ 43	下北半島の東部と三陸海岸を比較して、それぞれの海岸線の地形的特徴を考えよう。	下北半島の東部…砂浜海岸で滑らかな海岸線になっている。 三陸海岸…リアス海岸で入り組んでいる。	海岸地形には成因によって、土砂が堆積した砂浜海岸と岩石が侵食されてできた岩石海岸があることを理解する。さらに商港や漁港、都市の分布などからリアス海岸のほうが人間の居住が進んだことに気づく。
127-128	☐ 44	釧路湿原以外の五つの国立公園の地形的な共通点は何だろうか。	火山地形	北海道が九州地方と並ぶ火山の集中地域であることを概観する。火山活動によってできた火山やカルデラ湖などの変化に富んだ地形が、観光資源としての美しい景観をもたらしていることを理解する。